

全国学力・学習状況調査結果（個人票）の配付について

初秋の候 保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、4月に実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果が、文部科学省から7月末に届きましたのでお知らせいたします。なお、結果の公表につきましては、文部科学省の「序列化や過度な競争とならないようにするため、平均値等の数値そのものの公表はしない」という方針を受け、数値の公表はいたしませんので、何卒ご理解をお願いいたします。

今回の結果は、お子さまの学力の一端を測定したものです。つきましては、得意なこと・不得意なことを個人票の結果から読み取り、今後の家庭学習に生かしていただきたいと思います。また、保護者の皆様には、子どもたちが学習意欲をもって取り組めるように励ますとともに、環境づくりへのご協力もお願いいたします。

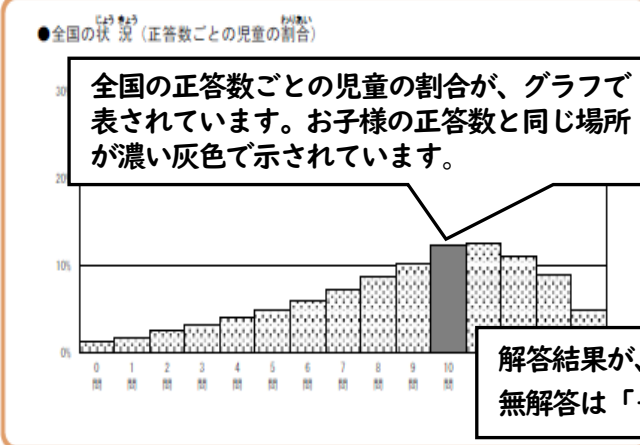
1 個人票の見方（ここでは「国語」を例に説明します）

(1)~(3)は「知識・技能」の内容
A~Cは「思考・判断・表現」の内容

国語	正答数	10 / 14問
	全国の平均正答数	9.0問

学習指導要領	正答数	全国の平均正答数
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5 / 6問	4.0 / 6問
(2) 情報の扱い方に関する事項		
(3) 我が国の言語文化に関する事項		
A 話すこと・聞くこと	2 / 3問	2.0 / 3問
B 書くこと	1 / 2問	1.0 / 2問
C 読むこと	2 / 3問	2.0 / 3問

問題形式	正答数	全国の平均正答数
選択式	6 / 8問	5.0 / 8問
短答式	2 / 3問	2.0 / 3問
記述式	2 / 3問	2.0 / 3問



お子様の正答数と全国の平均正答数が示されています。（○/○問）

解答結果が、正解は「○」、誤答は「×」、無解答は「-」で示されています。

出題形式として「選択」「短答」「記述」のいずれかで示している。

問題番号	問題の内容	結果	全国の正答率 (%)	学習学年 ※	学習指導要領の内容			問題形式	
					(1)	(2)	(3)		
1	津田梅子の二つの業績を明確に伝えるための練習で上野さんが話した構成の説明として適切なものを選ぶ	○	71.3	5・6			★		選択
	津田梅子についての【スピーチ】の練習で、〈資料②〉と〈資料③〉を使った理由の説明として適切なものを選ぶ	○	63.6	5・6			★		選択
	津田梅子についての【スピーチ】の練習で適切なものを選ぶ	×	28.9	5・6				★	選択
	面ファスナーに関する【資料】の文章が、何について、どのように書かれているかの説明として適切なものを選ぶ	○	42.1	5・6					★

各問題の全国の正答率が示されています。

各問題の学習した学年が示されています。

各問題の該当する観点項目に、★印がついています。

2 本校の学習面の結果概要

- (1) 本校の平均正答率と、県及び全国平均正答率との比較
- 国語は、すべての出題分類・区分で、高い数値でした。
 - 算数は、すべての出題分類・区分で、やや高い数値でした。
- (2) 県及び全国との比較とは別に、本校の児童の「優れている内容」・「不足している内容」
- | | | |
|-----|----------------|---------------------|
| ○国語 | <優れていると思われる内容> | <不足していると思われる内容> |
| | ・「C 読むこと」 | ・「(2) 情報の扱い方に関する事項」 |
| ○算数 | <優れていると思われる内容> | <不足していると思われる内容> |
| | ・「A 数と計算」 | ・「B 図形」 |

■国語は、14問中13問が、全国平均正答率より高い数値でした。

<本校の児童の正答率が低かった問題>

大問¹の1 (問題冊子 p.2)

https://www.nier.go.jp/23chousa/pdf/23mondai_shou_kokugo.pdf

(URL をクリックすると問題冊子を閲覧できます。)

・原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題

★ 様々な情報の中から原因と結果などの関係を見だし、結び付けて捉えることができるようにする。

■算数は、16問中12問が、全国平均正答率より高い数値でした。

<本校の児童の正答率が低い問題>

大問⁴の1 (問題冊子 p.20)

https://www.nier.go.jp/23chousa/pdf/23mondai_shou_sansuu.pdf

(URL をクリックすると問題冊子を閲覧できます。)

・百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる問題

★ 日常生活の場面において百分率で表された割合について、具体的な数量の関係に基づいて理解できるようにする。

3 本校の児童質問紙の結果概要 ※59問の質問に回答しました。

児童質問紙 https://www.nier.go.jp/23chousa/pdf/23shitsumonshi_shou_jidou.pdf

(URL をクリックすると問題冊子を閲覧できます。)

(1) 県平均・全国平均と比較して本校の児童の割合が高い項目 (一部抜粋)

- ・項目(1) 朝食を毎日食べていますか
- ・項目(23) 新聞を読んでいますか
- ・項目(25) 今住んでいる地域の行事に参加していますか
- ・項目(39) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
- ・項目(46) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- ・項目(54) 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

★ 項目(4)「自分には、よいところがあると思いますか」やそれ以外にも、肯定的な回答(よく当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)の割合が高い項目が多くありました。しかし、その中の「よく当てはまる」という最も肯定的な回答をした児童の割合がやや低い傾向が見られます。この傾向は昨年度も同様でした。

(2) 県平均・全国平均と比較して本校の児童の割合が低い項目 (一部抜粋)

- ・項目(7) 将来の夢や目標を持っていますか
- ・項目(13) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
- ・項目(16) 家で自分で計画を立てて勉強していますか (学校の授業の予習や復習を含む)
- ・項目(27) 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか

★すべての項目において最も肯定的な回答「よく当てはまる」が低いという傾向が見られました。児童が自信をもって「よく当てはまる」と回答できるような支援を検討していきます。

なお、この結果はあくまで「6年生全体の傾向」を表しているものです。家庭の学びの取組や日常生活を見直すきっかけにいただければ幸いです。

★令和5年度全国・学力学習状況調査の結果(概要)は、以下のURLまたはQRコードから参照できます。

URL

<https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23summary.pdf>

